

# そととおとどけ

Vol.16

テーマ  
「雨」

おとどけはないおとどけが  
続く梅雨の時季。  
今日は雨の日に  
おススメの作品  
集めました。



『虚空パーベキ』より「雨ふりキャンデー」 K913ノ  
野中純作 理論社

ボンボンと降るしんぼのパンダ。  
三日も降りつづく雨でみんなうんでもりしてるけど  
「ボンボンは違うよ。  
雨はアメなるいのにな。」  
空から色とりどりのアメ玉…。そんなことを  
考えれば、うっせりごせけんなのです。  
青いレインコートに青い長ぐつ、青い靴。  
雨の日の方でかけかば どんな楽しいことが  
あるかな？

『雨、あめ』 E933ス  
ピーター・スピア著 評論社

雨が降ると 出かけるのが嫌なのに  
なりがちな。でもそれは大人だけ  
じゃない。子どもたちは、雨ごいを  
はいて、レインコートを着て  
傘をさして 家の外へ。  
雨にから見えるもの。  
楽しいこと、おもしろいこと  
と気がおきてくるよ。



『雨ふりマウス』 K913フ  
竹下文字文 アリス館

ある日、家に帰るとお母さんがミキキを呼んで  
いた。名前がミドリさん。ミキキにしめ見え  
ない不思議なお客さん。ミドリさんの次は  
おしゃべりするねずみおが現れた。おしゃべり  
の名前は 雨ふりマウス。ねずみが出るど  
前がふるらしい。でも、そんなことを知って  
いるミドリさんこそ いったい何者!?

『濡れて』 Fフ  
又世晃吉著 集英社

クルーザーがスワールの生徒を乗せた船が  
暴風雨のなかで遭難。7人の男女が無人島に  
漂着します。死と隣合わせの状況の中  
食料の調達から石けんの作り方、住み場所  
まで、少年達はゼロから文明を築く決心  
をします。自然の美しさとその裏にある  
脅威を感じながら彼らが見た新しい  
家族の形とは…?

『雨がくれる50のしあわせ』  
吉沢良雪著 大知書房199.6日

雨の日ってつまらない。外にも出か  
ないし、何をしたいもない。たけど、  
雨の日がからい楽しさを感じたい。  
そんな雨の日の楽しみを紹介してい  
くのがこの本。  
雨の日だからこけ楽しむこと。  
雨がくれるしあわせを探して  
みましょう。

『雨の事典』 451.6レ  
レインドロップス編著 北村出版

空と海と大地を つなぐのが雨。  
気象、言葉、歴史 などさまざまな  
分野にわたって、雨 について書か  
れた事典です。読んでみると、雨に  
ついて意外と知らないことが多  
いのがわかります。  
雨をかなおすこと ができる1冊  
です。

『おじさんのかさ』 E913サ  
佐野洋子作 銀河社

どんなにあめがふってもかさをささない  
おじさん。それはなぜかお母さんが  
いやなです。でも おじさんが「あめが  
ふったらボンボロロン あめがふったら  
ピチンピチン」とうたっているのを見ると  
おじさんは とうとうかさをさしてしま  
いました。おじさんが「たのしそうにかさを  
さしているのを見ると あめがぴかぴかど  
しくなれます。

『アリの葉にはなぜ「雨の水か」  
入らないの?』  
K404コ 児玉浩憲著 徳間書店

「アリの葉は土の中にあるから、なぜ「雨の水か」  
入らないの?」  
「どうして雨がふる前に  
なるとかエビが鳴き出すの?」そんな日頃の  
「なぜ?」に 答える1冊。  
思いがけないことばかり。思わず、  
「へー!!」と 感心してしまうかも?

『にじとそらのつくりかた』 K913カ  
かとうじゅんこ作 理論社

空の雲を仕事にする3人の鳥たち。  
「雲の水まきをすると地上に雨が  
降るので。主人公の少女はみんな  
事から、晴々の1日野原にきてしま  
います。大冒険が始まりました。雨を降らせ  
たら、少女は色んな体験を  
します。さて、今の日本は梅雨の季節  
ですが、もししたらそれは 鳥たちの  
いたずらおとしおぼせなの。

『おとしすくの水』 K435ウ  
ケルター・ワーク著 おすぎな博房

たのた おとしすくの水。水にもいろんな形が  
あるのを知っていますか? 雨のしずく、雲のくた  
た、虹をくぐる水、空気になる水…  
これは、そんな水の様々な一面を捉えた本。  
雨の多いこの季節、  
おなじみのおとどけに  
あるおとしすくの水を  
みつけてみませんか?



『あめのは』 E933シ  
ユージ・ケルターワーク作 福音館書店

日本の雨は しとしと、じりじり。では、  
外国の都会に降る雨は? 路地裏の  
古いアパートの窓から覗いているように  
風になれます。アスファルトに降る雨。  
田舎に降る雨。最終には海へと流れ  
ていく。  
たまには静かに雨の音を聞くのもいい  
と思う絵本です。

『雨 恋』 Fマ  
松尾由美著 新潮社

祖母の留守を任された静子は2LDK  
お化け付き。毎朝、雨の日しか出て  
来れないというお化けに頼り身を  
かかっている。初めの頃こそ怖れお化け  
があつた僕は 次第に 雨の音を 待ち  
望むようになる。  
雨の季節に一度愛おめた  
恋物語はいつかおとどけ?



